射水市教育委員会１０月定例会次第

日　時　令和８年１０月２９日（木）
　　午前１０時から
場　所　本庁舎４階　会議室４０１

１　会議録の承認

２　各課等の連絡事項及び報告事項

（１）学校体育館への空調設備の整備について（学校教育課）　資料１

（２）地域おこし協力隊（スポーツツーリズム推進コーディネーター）の任用について
（生涯学習・スポーツ課）　資料２

（３）第１回射水市部活動の地域展開及び地域クラブ活動推進協議会について
（生涯学習・スポーツ課）　資料３

（４）とやまのユネスコ無形文化遺産 10 周年・追加登録記念シンポジウム（案）について
（生涯学習・スポーツ課）　資料４

（５）教育委員会行事予定　資料５

３　その他

※　次回教育委員会の開催日時について
１１月２６日（木）　午前１０時から　市庁舎４０１会議室

射水市教育委員会９月定例会会議録（案）

Ⅰ　開会日時　令和８年９月２４日（木）　　開会　午後２時４８分
　　閉会　午後４時０５分

Ⅱ　会議場所　新湊放生津小学校２階　会議室

Ⅲ　出席委員
金谷教育長、眞岸委員、宮原委員、成田委員、二川委員

Ⅳ　会議事件説明員
作道事務局長、竹内事務局次長（生涯学習・スポーツ課長)、
小谷内事務局次長、佐藤学校教育課長、上田教育センター所長、
川渕学校教育課長補佐、金三津生涯学習・スポーツ課長補佐、
中波学校教育課総務企画係長

Ⅴ　傍聴人数　なし

Ⅵ　会議の要旨
午後２時４８分、教育長が開会を宣した。

１　会議録の承認
承認された。

２　事務局報告事項
（１）令和８年９月市議会開催状況について
事務局長が、資料１に基づき説明した。

３　各課等の連絡事項及び報告事項
（１）射水市イングリッシュ・キャンプの実施について（報告）
学校教育課長が、資料２に基づき説明した。
（２）令和８年度教育センター主管の教職員研修について
教育センター所長が、資料３に基づき説明した。
（３）「令和８年度全国学力・学習状況調査」における射水市の結果について
教育センター所長が、資料４に基づき説明した。
（４）教育委員会行事予定
学校教育課総務企画係長が、資料５に基づき説明した。

４　その他
（１）次回教育委員会の開催日時について
１０月２９日（木）午前１０時　会議室４０１

５　議　事
（１）資料２：射水市イングリッシュ・キャンプの実施について（報告）について
［委　員］　イングリッシュ・キャンプの参加者アンケートの中で、「あまり楽しくなかった」という回答が４％あるが、その理由について伺う。
［事務局］　選択した回答理由についての記載を求めていないため、確認できてい

ない。アンケートの項目は昨年と同じである。

［委　員］　アンケートの実施においては、課題等の改善が図られるよう努めるべきである。

［事務局］　次年度への課題としたい。

午後４時０５分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。

資料１

学校体育館への空調設備の整備について

学校体育館は児童生徒の教育活動の場であるとともに、災害時における指定避難所として重要な役割を担っている。

本年度、全中学校体育館への整備を進めており、進捗状況について報告するもの。

１　整備状況

中学校６校

対　象　校	熱　源	空調能力（ＨＰ）	使用可能時期（予定）
新湊中学校	都市ガス	８０	Ｒ８．１１下旬
新湊南部中学校	ＬＰガス	８０	Ｒ９．　１上旬
射北中学校	都市ガス	８０	Ｒ８．１２中旬
小杉中学校	ＬＰガス	１００	Ｒ８．１２中旬
小杉南中学校	都市ガス	８０	Ｒ８．１０から使用
大門中学校	ＬＰガス	１００	Ｒ８．１２中旬

※熱源に関わらず、全て電源自立型ガスヒートポンプエアコン（GHP）で整備。
停電が発生した場合においても、空調設備を稼働して発電することができ、余剰電力については、照明等で利用予定。

２　整備予定

新湊放生津小学校については、令和７～８年度改修工事にて整備

【令和９年度】
小学校７校　作道、東明、小杉、歌の森、太閤山、大門、大島
※令和８年度１２月補正に予算計上し、年度内に工事着手予定

【令和１０年度】
小学校６校　片口、堀岡、塚原、金山、中太閤山、下村

資料２

地域おこし協力隊（スポーツツーリズム推進コーディネーター）の任用について

生涯学習・スポーツ課
ス ポ ー ツ 推 進 係

１　目的

スポーツ資源や自然、環境など強みを活かし、大会・合宿・イベント等の誘致といったスポーツツーリズムを推進できる体制を整え、経済活性化、地域活性化を推進することを目指しており、そのために必要不可欠なスポーツコミッション設立を進めるために任用するもの。

２　地域おこし協力隊の氏名及び任用日等

（１）氏　　名　伊藤　諭美（いとう　つぐみ）３８歳　兵庫県尼崎市在住
（２）任 用 日　令和８年１１月１日
（３）所属部署　生涯学習・スポーツ課スポーツ推進係

３　活動内容

（１）スポーツコミッション設立に向けた民間事業者とのネットワークの構築
（２）射水市フットボールセンター等での大会、合宿誘致、運営支援
（３）宿泊施設、飲食、観光等を含めたモデルコースの提案
（４）大会飯、合宿飯など地元食材での弁当の企画
（５）スポーツ施設へのアクセス等の課題解決
（６）市民向けのスポーツ教室、スポーツイベントの開催
（７）スポーツ大会、イベント等の情報発信
（８）その他スポーツツーリズムに係る取組全般

４　任用期間

任用の日から最長３年

資料３

第１回射水市部活動の地域展開及び地域クラブ活動推進協議会

日　時：令和８年１０月２６日（月）
午後４時００分
場　所：射水市役所会議室４０１

１　会長（教育長）あいさつ

２　報告事項

（１）令和８年度までの実施状況について　……　資料１

（２）令和９年度からの運営体制について　……　資料２

３　協議事項

（１）今後のスケジュールについて　……　資料３

・平日の地域展開に向けた中学校との連携について

４　その他

２　報告事項
（１）令和８年度までの実施状況について

➢　はじめに

部活動の課題・地域展開の必要性

１．学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数はさらに減少する中、学校単独での部活動は持続困難。
２．入学する中学校によって設置部活動数に差、時代にあわせた新たなニーズには応えられない。
３．学校における働き方改革の必要性が高まる中、学校の教職員のみに頼る指導体制は維持できない。

少子化が進む中においても、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、地域全体で支える仕組みの構築が必要。

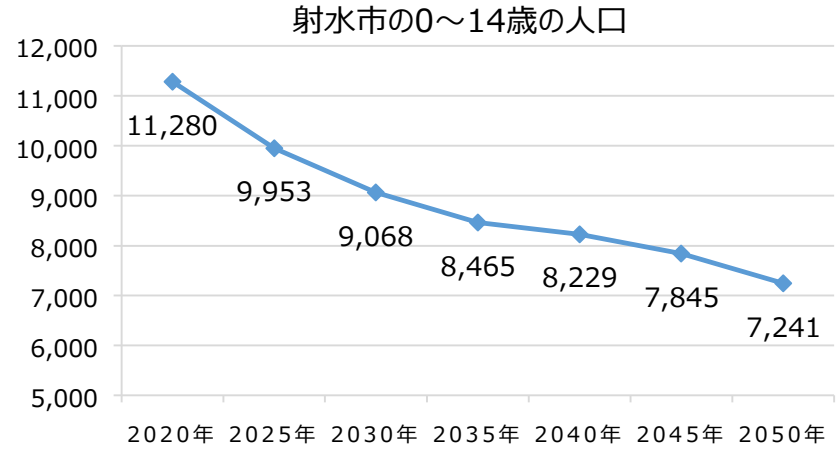
「部活動」

学校が主体となる学校教育活動
学校の教職員が自校の生徒に指導

地域展開

「地域クラブ活動」

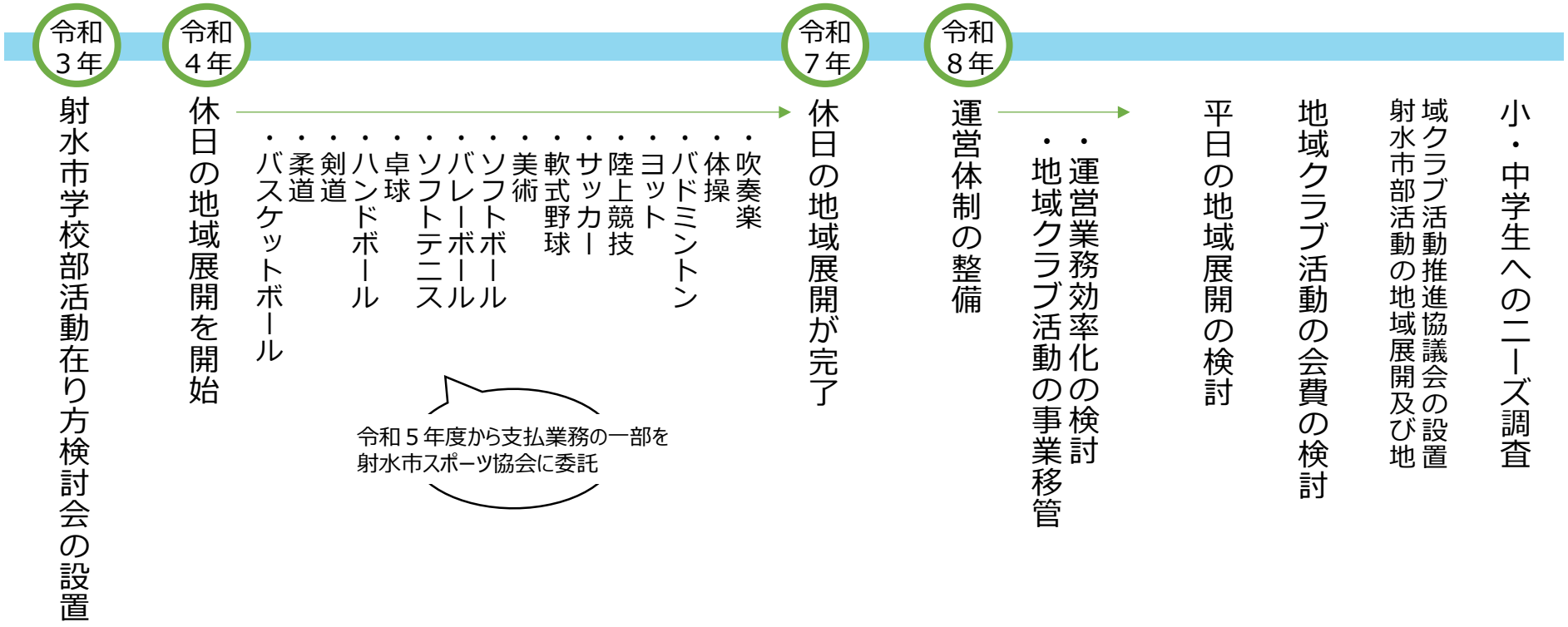
学校以外の地域の多様な主体が実施するスポーツ・文化芸術活動
地域の指導者が地域の幅広い生徒に指導



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より

新湊	新湊南部	射北	小杉	小杉南	大門
軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球	軟式野球
	サッカー	サッカー	サッカー	サッカー	サッカー
ソフトテニス(男	ソフトテニス(男	ソフトテニス(男	ソフトテニス(男	ソフトテニス(男	
ソフトテニス(女		ソフトテニス(女	ソフトテニス(女	ソフトテニス(女	ソフトテニス(女
		卓球(男	卓球(男	卓球(男	卓球(男
			卓球(女	卓球(女	卓球(女
バスケットボール(男			バスケットボール(男		バスケットボール(男
バスケットボール(女	バスケットボール(女		バスケットボール(女	バスケットボール(女	バスケットボール(女
			バレーボール(男	バレーボール(男	バレーボール(男
バレーボール(女		バレーボール(女	バレーボール(女	バレーボール(女	バレーボール(女
		柔道	柔道	柔道	柔道
剣道	剣道	剣道	剣道	剣道	剣道
	ソフトボール	ソフトボール			ソフトボール
			ハンドボール(女		ハンドボール(男
			陸上競技		ハンドボール(女
		水泳			陸上競技
	新体操				
		ヨット			
		バドミントン			
					体操
美術	吹奏楽	吹奏楽	吹奏楽	吹奏楽	吹奏楽
	美術	美術	美術	美術	美術
			合唱		
			科学	科学	科学
			放送演劇		放送演劇
		ボランティア			
			家庭		
					園芸

➢ 実施状況（実証期間：令和４～８年度）



令和４年度　３種目
令和５年度　３種目
令和６年度　３種目
令和７年度　７種目

⇨ １６種目
４５クラブが活動

事業移管先
射水市総合型地域スポーツクラブネットワーク会議
(いみずSCネット)

※いみずSCネットは射水市のまちづくりに資することを目的とした
射水市内５つの総合型地域スポーツクラブが参画する団体

➢ 加入状況（令和８年度）

種目	部活動部員数 R8.5.1	地域クラブ生徒数 R8.10.1	種目	部活動部員数 R8.5.1	地域クラブ生徒数 R8.10.1
バスケットボール	197	37	軟式野球	57	68
柔道	37	31	サッカー	49	40
剣道	71	57	陸上競技	79	64
ハンドボール	66	64	ヨット	20	20
卓球	143	49	バドミントン	15	15
ソフトテニス	293	95	体操	10	7
バレーボール	202	173	美術	126	101
ソフトボール	48	49	吹奏楽	182	158

部活動部員数　合計　1,595人 （全校生徒2,235人の約7割）	地域クラブ生徒数　合計1,028人 （部員数1,595人の約6割）

人数差の大きいバスケットボール、卓球、ソフトテニスついては、クラブチームに所属している生徒が多いことが要因と考えられる。

➢ 事業費（令和８年度予算）

歳出		
費目	金額等	
保険料		1,176,928円
委託料	指導者報償費	27,192,000円
	会場使用料	2,246,600円
	その他	2,291,518円
合計		32,907,046円

歳入	
費目	金額等
国県補助	13,591,000円
一般財源	19,316,046円
合計	32,907,046円

２　報告事項
（２）令和９年度からの運営体制について

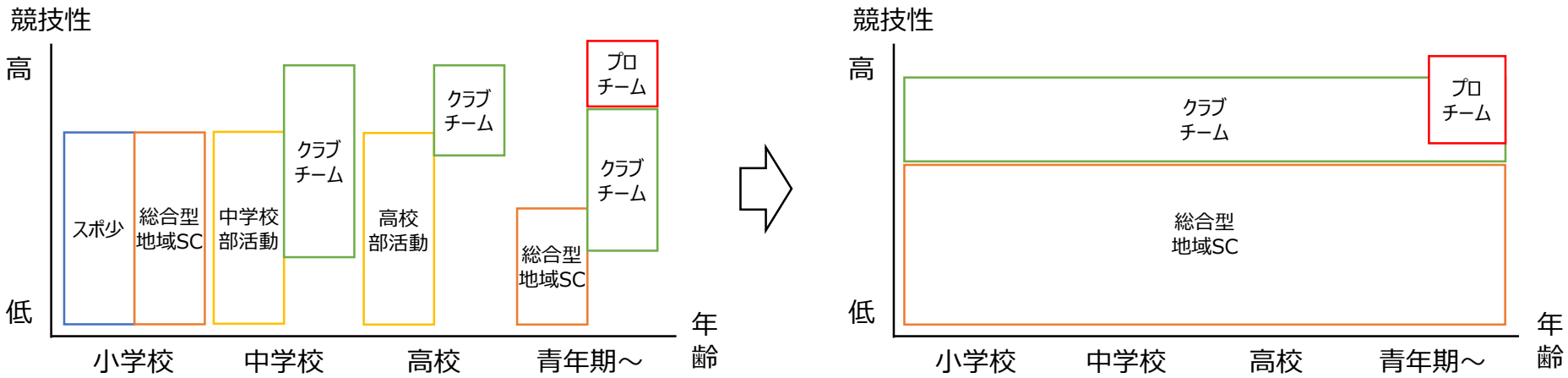
➢　運営体制の見直し

部活動の地域展開は部活動を丸ごと地域へ移すことではなく、学校、地域、スポーツ・文化芸術団体、行政が連携する新しい活動基盤によって、子どもたちのやりたい気持ちを支えることである。
持続的・安定的にスポーツ・文化芸術活動の機会を提供するため、高い専門性がある団体が地域クラブを統括し、運営・管理業務の中核を担うことが求められる。

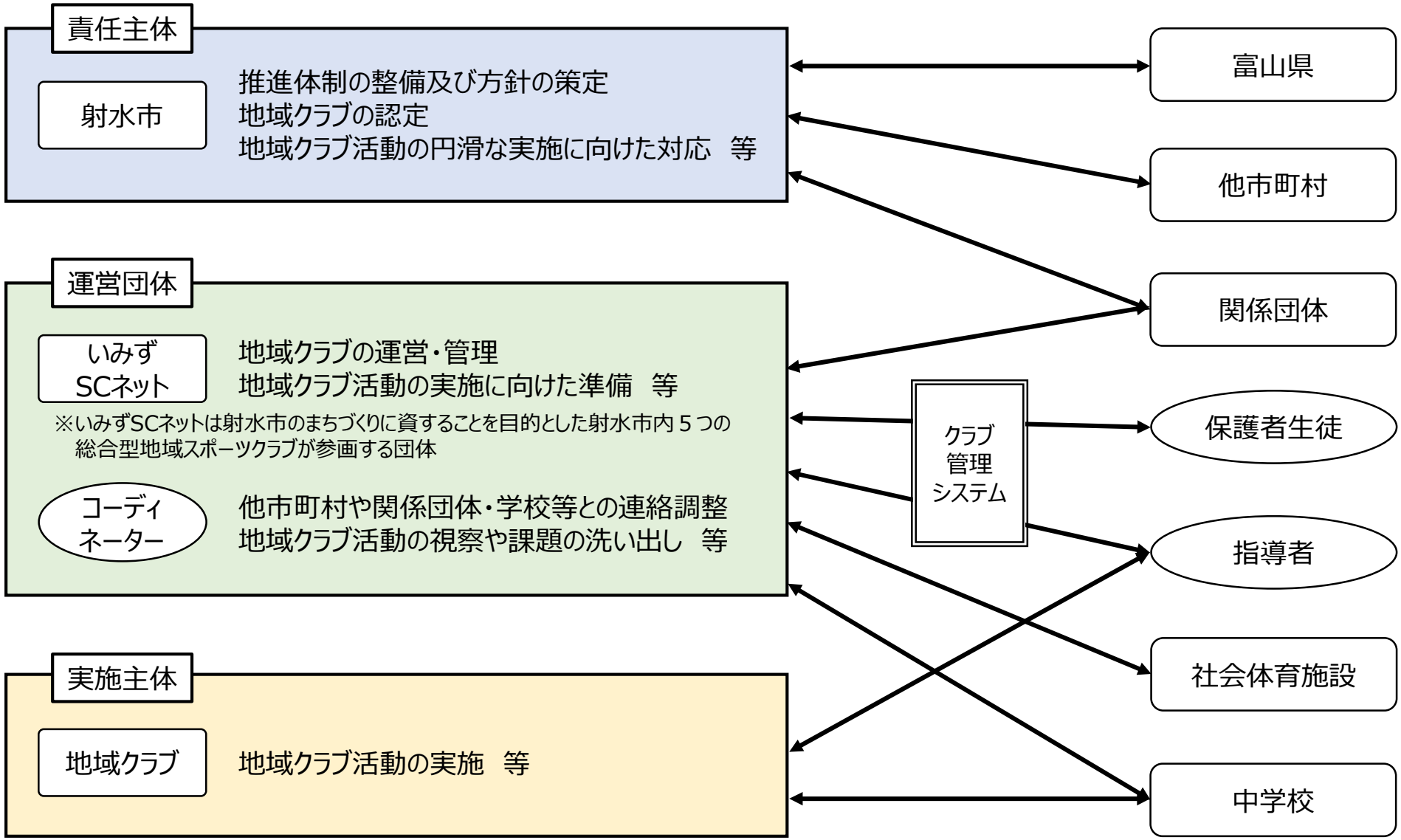
⇨

射水市内５つの総合型地域スポーツクラブは、長年にわたり地域住民が主体的に地域のスポーツ環境を形成しており、高い専門性と、教室の企画・運営、指導者コミュニティ、会計処理等のノウハウがある。
子どもたちは地域クラブ活動への参加だけではなく、総合型地域スポーツクラブの教室やイベントへの参加を通して地域と関わる機会の創出も期待される。

この見直しにより、生徒が多種多様なスポーツ・文化芸術活動に参加できる環境を整備するだけではなく、ひいては射水市全体のスポーツ・文化芸術環境の再整備となり、生涯にわたり、あらゆる機会・場所で学び、楽しめる射水市の実現に繋げていきたい。



➢ 運営体制のイメージ図


責任主体
射水市
推進体制の整備及び方針の策定
地域クラブの認定
地域クラブ活動の円滑な実施に向けた対応　等
運営団体
いみず
SCネット
地域クラブの運営・管理
地域クラブ活動の実施に向けた準備　等
※いみずSCネットは射水市のまちづくりに資することを目的とした射水市内５つの
総合型地域スポーツクラブが参画する団体
コーディ
ネーター
他市町村や関係団体・学校等との連絡調整
地域クラブ活動の視察や課題の洗い出し　等
実施主体
地域クラブ
地域クラブ活動の実施　等
クラブ
管理
システム
富山県
他市町村
関係団体
保護者生徒
指導者
社会体育施設
中学校

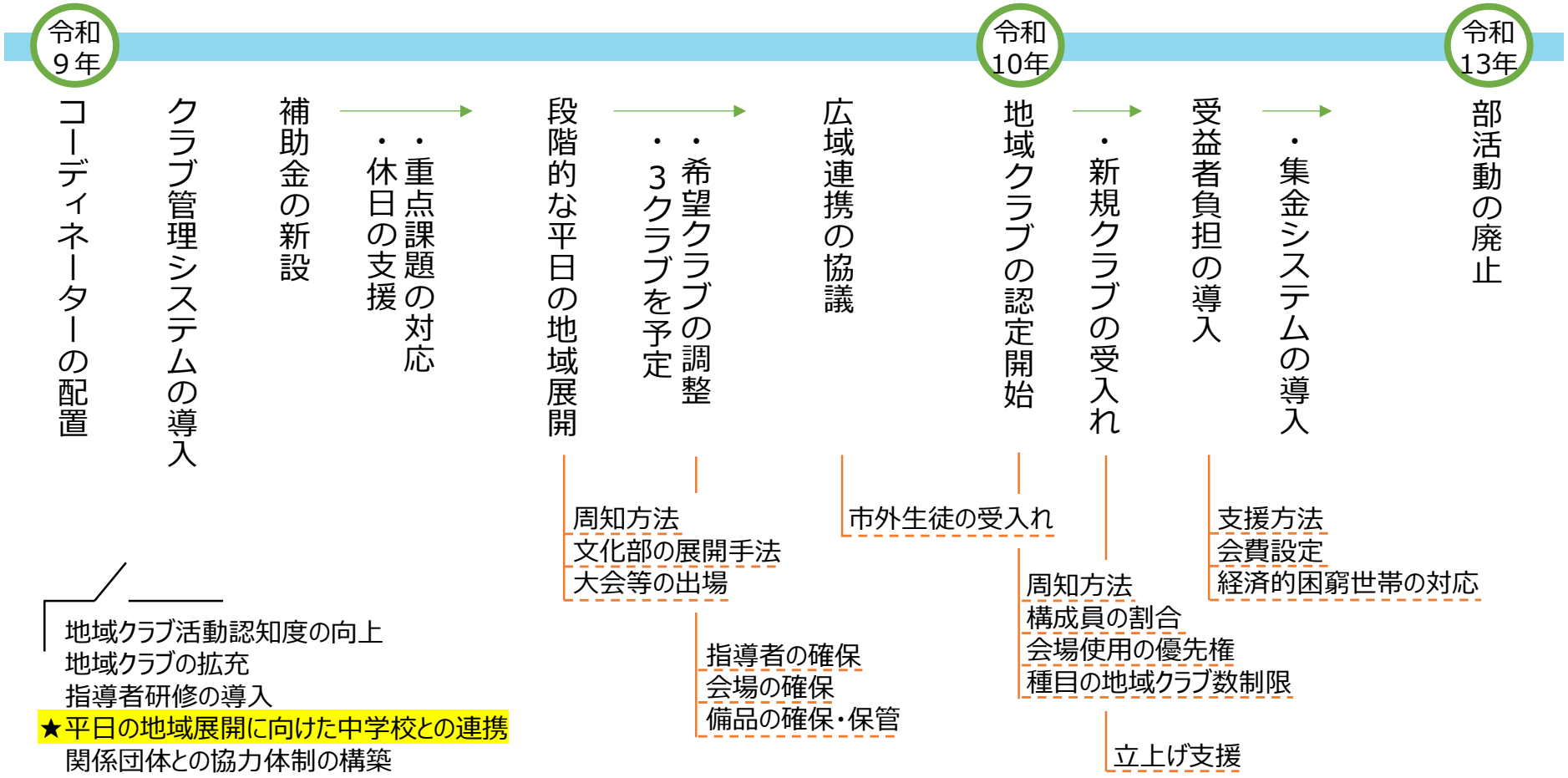
➢ 会費の試算

休日の地域クラブ活動にかかる経費（令和９年度試算）

地域クラブ	活動	報償費	会場使用料	消耗品費	保険料	その他	管理費	合計	R8平均参加者数	1人あたりの月会費(補助無)
バスケットボール(男子)	社会体育施設＋学校施設 月4回	864,000	214,200	20,000	32,000	231,500	127,600	1,580,000	12	11,000
剣道(新湊)	社会体育施設 月4回	720,000	463,500	20,000	32,000	114,440	126,994	1,540,934	11	11,700
ハンドボール(大門男子)	社会体育施設＋学校施設 月4回	576,000	214,200	20,000	26,400	152,280	87,278	1,100,458	18	5,100
バレーボール(小杉男子)	学校施設 月4回	480,000	0	20,000	36,800	161,480	54,868	781,148	15	4,400
ソフトボール(射北)	学校施設 月4回	576,000	0	20,000	18,400	116,280	62,628	793,308	9	7,400
美術(小杉南)	学校施設 月2回	288,000	0	20,000	9,600	70,080	32,288	419,968	7	5,000
吹奏楽(新湊南部)	学校施設 月4回	576,000	0	20,000	27,200	133,760	64,696	859,256	23	3,200
４２地域クラブの平均		531,000	62,000	19,000	14,000	178,000	66,000	870,000	16	4,600

３　協議事項
（１）今後のスケジュールについて

➢　実施予定（推進期間：令和８～１３年度）



資料４

とやまのユネスコ無形文化遺産 10 周年・追加登録記念シンポジウム（案）

生涯学習・スポーツ課

１　趣旨

近年の少子高齢化や人口減少、さらにはコロナ禍で地域の伝統行事は担い手不足が大きな課題となる中、ユネスコ登録 10 年間を振り返りつつ、曳山行事の関係者が次世代への継承を考える機会とし、県内外の方々に広く富山県の曳山行事の価値や魅力を情報発信し、祭りの関係人口の拡大につなげ、次世代に向けた曳山行事の保存・継承を図る。

２　事業概要

(1) 主　催　とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会
（事務局：富山県教育委員会生涯学習・文化財課内）

(2) 日　時　令和８年 11 月 28 日（土）13：00～17：00　（受付開始 12:00）

(3) 場　所　高周波文化ホール　小ホール（射水市）

(4) テーマ　「曳山行事の保存と継承」

(5) 出席者　協議会会長、関係４市長、保存会代表、有識者、来賓（国会議員、県会議員等）
基調講演：石垣　悟　國學院大學教授
事例報告：高山祭の屋台行事保存会　國學院大學

(5) 来場者　県民・行事関係者等　200～300 人（予定）

(6) タイムスケジュール(案)

時間	LAP	次第	内容
13:00	20	保存会演舞(射水)	ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ演舞　解説者：保存会
13:20	25	主催者・来賓挨拶等	島添会長/知事・橘代議士・射水市長 ※射水市以外の 3 市長は壇上で紹介のみ
13:45	5	趣旨・行事紹介	総合司会
13:50	50	基調講演	学識有識者（石垣先生）
14:40	30 (20/10)	先進地域事例報告	県外先進地域（高山祭保存会・國學院大學）
15:10	10	保存会演舞(高岡)	解説者：保存会
15:20	10	保存会演舞(魚津)	解説者：保存会
15:30	15	保存会演舞(南砺)	解説者：保存会
15:45	5	休憩（舞台転換）	
15:50	67	シンポジウム	石垣・島添・地元４保存会／６名(高山:会場参加)
16:57	3	閉会の辞	協議会事務局長（中川課長）
17:00	－	解散	

(7) 同時開催事業

○曳山パネル展示会（11 月 28 日(土)10:00～17:00）

・展示室で「山・鉾・屋台行事」に登録された曳山行事や県内の曳山行事の写真パネルを展示

・県内の曳山行事を紹介する図録(P24/1,000 部)を刊行し、パネル展示会で無料配布

(8) その他　・シンポジウムを収録・編集し、後日ケーブルテレビで放映

・11 月 27 日から、新湊博物館において特別展「放生津八幡宮祭の曳山・築山」を開催（会期令和８年 11 月 27 日～令和９年２月７日）









とやまのユネスコ無形文化遺産

10周年・追加登録記念シンポジウム

日時 令和8年11月28日（土） 13:00～17:00（開場12:00～）

会場 高周波文化ホール（新湊中央文化会館）

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan
令和8年度文化庁文化芸術振興費補助金
（地域文化財総合活用推進事業）

主催：とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会　後援：全国山・鉾・屋台保存連合会

とやまのユネスコ無形文化遺産
10周年・追加登録記念シンポジウム

ユネスコ無形文化遺産登録10周年、および「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」の追加登録を記念して、「山・鉾・屋台行事の保存と継承」をテーマにシンポジウムを開催いたします。
近年、少子高齢化や人口減少、コロナ禍の影響により、地域の伝統行事は担い手不足という大きな課題に直面しています。そこで本シンポジウムでは、ユネスコ登録からの10年間を振り返るとともに、関係者が次世代への継承を考える機会といたします。さらに、富山県の山・鉾・屋台行事の価値や魅力を広く発信することで、祭りの関係人口を拡大し、未来に向けた確かな保存・継承へとつなげてまいります。

ユネスコ無形文化遺産 「山・鉾・屋台行事」

地域社会の厄を払い安泰を願う日本の代表的な祭礼です。平成28年の当初登録時に京都祇園祭など全国33行事が一括登録され、富山県からは「高岡御車山祭の御車山行事」「魚津のタテモン行事」「城端神明宮祭の曳山行事」の3行事が登録されました。さらに、令和7年12月には新たに、射水市の「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」が追加登録され、現在は県内4つの歴史ある行事が、豊かな地域文化を未来に伝えています。

プログラム

13:00～　開会・演舞
（放生津八幡宮曳山・築山保存会）
主催者挨拶・来賓挨拶

13:50～　基調講演
「『みんな』で祭りをつなぐ　―未来への転換」
石垣 悟 氏（國學院大學観光まちづくり学部 教授）

14:40～　事例報告
①「『高山祭の屋台行事』の継承活動について」
寺地　亮平 氏（高山屋台保存会　庶務担当理事）

②「『観る祭り』から『関わる祭り』へ ―高山祭に関わって」
松本　香凛 氏（國學院大學観光まちづくり学部・学生）

15:10～　3保存会による演舞
（高岡御車山・魚津たてもん・城端曳山）

15:55～　シンポジウム
コーディネーター：石垣　悟 氏（國學院大学教授）
コメンテーター：島添　貴美子
（とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会会長）
パネラー：
吉村　良則（高岡御車山保存会会長）
四方　正治（放生津八幡宮曳山・築山保存会会長）
四十万　隆一（魚津たてもん保存会会長）
長田　伸介（城端曳山保存会会長）

17:00　閉会挨拶・終了

※内容は一部変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



高岡御車山祭の御車山行事
（開催日：5月1日）

加賀前田家2代当主・前田利長が、高岡に城を築いて町を開いたおり、城下の町内に与えたもので、祭礼の山車として奉曳きしたのが始まりと言われています。神霊を迎える諸要素をよく備えているものとして、昭和35年に「高岡御車山」が国の重要有形民俗文化財に指定され、昭和54年には行事全体が「高岡御車山祭の御車山行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。



放生津八幡宮祭の曳山・築山行事
（開催日：9月30日～10月3日）

射水市八幡町にある放生津八幡宮の秋季祭礼の中で行われる行事です。13基の曳山が巡行する「曳山行事」と、臨時の祭壇を設けて人形などを飾る「築山行事」という二つの異なる「山」行事は、地域の人々にとって欠くことのできない大切な行事として、今日まで継承されています。令和3年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。



魚津のタテモン行事
（開催日：8月第1金曜日・土曜日）

魚津市諏訪神社の祭礼で、豊漁と航海の安全を祈願する行事です。提灯を三角形に飾り付けた高さ15m程の「たてもん」が神社周辺で曳き回されます。日本海沿岸地域の地域色を示す重要な行事として、平成9年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。



城端神明宮祭の曳山行事
（開催日：5月4日・5日）

南砺市城端の城端神明宮の春祭で行われ、曳山や庵屋台が町内を巡行する行事です。宵祭での神像公開や、庵屋台で男衆が披露する庵唄など、古い風流の形式や地域色豊かな特徴を残しています。平成14年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

問合せ｜とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会
富山県教育委員会 生涯学習・文化財課内
富山市新総曲輪1-7　(076)444-3456

会　場｜高周波文化ホール（射水市三日曽根3-23）
アクセス｜万葉線「新町口駅」より350m
北陸自動車道「小杉インターチェンジ」より11km